

新しいという言葉にふさわしい4月、美術館でも新しい展覧会が始まります。見て、感じる展覧会を心がける1年のスタートです。

## 展覧会のお知らせ

### 常設展示

「小川原脩 自伝風な展覧会—感動の場—点」

町広報連載の「感動の場—点」を再現した展覧会です。点とは画家であり、作品です。そしてテーマによって展示室にかけられた小川原脩の作品が、意味を持ちながらつながることでもあります。感動の場としての美術館という意味を込めました。

会期：4月25日（木）～7月15日（月）

### 企画展示

「マイコレクション展」

開館以来寄贈され、寄託を受けたコレクションを公開します。武内一男コレクション、個人所蔵の作品の中から、油彩画、日本画、水彩画、版画など技法を問わず展示します。展示予定の作家は、小川原脩、香月泰男、東郷青児、棟方志功、穂井田日出麿、徳丸滋、谷口一芳、松見八百造などです。

会期：4月25日（木）～5月19日（日）

### お知らせ

4月24日（水）まで、収蔵庫の整理と展示替のため休館します。4月25日（木）からは通常通り開館します。なお、ゴールデンウィーク期間中は休まず開館します。

## ミュージアム通信

小川原脩記念美術館

☎21-4141 FAX 21-4142

URL [www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/somoa/index.jsp](http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/somoa/index.jsp)

倶知安風土館

☎22-6631 FAX 22-6632

URL [www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/hoodokan/hoodokan.jsp](http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/hoodokan/hoodokan.jsp)

開館時間は9時～17時

（入館は16時半）

4月の休館（美術館）1～24日

（風土館）2, 9, 16, 23, 24日

### 木田金次郎美術館 ☎ 0135-63-2221

展覧会 春の企画展「木田金次郎 12 か月」

4月4日（木）～6月30日（日）

展示室4「大たら丸展」（予定）

4月26日（金）～5月19日（日）

### 西村計雄記念美術館 ☎ 0135-72-2525

春から夏の展覧会 西村計雄「花と鳥と」開催中  
おやこで楽しむ展覧会「People—ひとびと—」  
西村計雄、山岸正巳をはじめ、西村計雄コレクションから藤田嗣治、モディリアーニの素描などを展示しております。

### 荒井記念美術館 ☎ 0135-63-1111

4月26日（金）から開館。開館時間が変わります。

9時～17時（入館は16時30分まで）

展覧会「ピカソの怖い絵」

会期：4月26日（金）～6月26日（水）

## 海と山と田園と—ミュージアムロード情報—

### 町長室から（町政執行方針より一部抜粋）

長引く経済の低迷から、地方自治体の置かれている状況は、財源確保や地方の自立など、依然厳しい行財政運営を迫られております。

このような状況下において、まず、地方自治体として、将来に持続可能で健全な行財政基盤を構築することを基本として、町民主体のまちづくりを進めるため、町民と行政が知恵を出し合い、協働の精神で各種施策を推進していくことが重要であると考えております。

きわめて混沌として将来が不透明な時代であり、本町においても急速に進む少子高齢化社会の中で、福祉、医療、保健など社会保障関連経費の負担が増加する一方で、子育て、教育環境の整備、環境保全、地域産業の充実・振興対策など未来に向けた新たな課題にも取り組んでいかなければなりません。

こうした環境下を認識しつつ、未来を見据えて、本年度は、町民の皆さまが安心して暮らせる生活を守るため、直面する地域医療体制の確保に全力を注ぐとともに、未曾有の被害をもたらした東日本大震災を教訓に、災害に強い、安全なまちづくりを進めるための防災対策を重点課題として、各種施策に取り組んでまいります。

福島世二



# 感動一点 の場

## 『みずばせう』

年代不詳 小川原 脩画

小川原が描いた作品には、自然現象や自然景観を描いた作品が少なからずある。戦前の植物を擬態化したようなシュールレアリスム絵画の数々、荒涼とした情景を背景にしたカーネーション、これらには季節感がない。戦後、1950年代ごろから植物を描きはじめるが、これらには季節感が漂う。1960年代以降に描いた動物と植物にしても明確に季節を演出する。さて、この作品だが戦後初めて描いた季節を表す植物である。

水辺に咲き乱れる清楚な印象の水芭蕉のイメージとは違い、戦前のシュールレアリスム絵画の名残のようだ。



# あの時代 とこの時代 と



# ふる探訪 さと

361回

## その45『停車場通りの情景』 昭和34年

明治37年10月15日に待望の北海道鉄道(後の函館線)が開通しました。鉄道ができ、これまでの物流の流れが変わりました。人が行き交い、物資が集まり、倶知安は活況を呈するようになりました。

鉄道の開通に伴い、倶知安駅(停車場)前には市街地ができました。停車場から九号線(現国道5号線)までの直線道路の開削が急がれました。紆余曲折の末に停車場線が開通したのは明治40年のことでした。またたく間に商店街が形成され、停車場通りはメインストリートとしての地位を築きました。砂利敷きでデコボコ道も、昭和33年10月に舗装されました。かつて砂埃を舞い上げ走るボンネットバスが、舗装道路の快適な走行を始めるようになったころ、まだ舗装されていない倶知安駅前広場を出発したバスが、駅前交番の前を通り過ぎた情景の写真です。

## 絵本館 10～18時 (水曜休館)

**『日本の川 いしかりがわ』**  
村松 昭

いしかりがわは北海道で一番長い川です。源流がある大雪山から268kmの川の流れに沿って見かける事のできる地形、鳥・魚・獣そして街が描かれています。鳥瞰図の楽しさを親子でどうぞ♪



公民館おはなし会 **こびとの森**  
■日時／4月27日(土) 11時～  
大型絵本 いつもいっしょに  
エプロンシアター カラーライズ  
ペープサート はらへこあおむし  
**今月の特集**  
**『おすすめ!!ファーストブック』**  
赤ちゃんの心や体の成長には、身近な人に抱かれて優しく語る声を聞く時間はとても大切です。今月は親子で楽しめる「ファーストブック」を集めてみました。本選びに迷っている方、懐かしく思い出した方、是非見てくださいね。  
**4月30日(火)図書整理のため休館**

## 公民館3階図書室 10～18時 (月曜休館)

**今月の新着**  
闇医者おえん秘録帖 あさのあつこ  
正義のセ 阿川 佐和子  
ハピネス 桐野 夏生  
執着 堂場 瞬一  
夢を売る男 百田 尚樹  
蘭陵王の恋 平岩 弓枝  
ドンナピアノカ 誉田 哲也  
桜ぼつさら 宮部 みゆき  
ビブリア古書堂の事件手帖4 三上 延  
にすいです。 冲方丁 対談集  
冲方 丁

**4月25日(木)図書整理のため休室**

**公民館文化講座**  
公民館文化講座が本年度も開講され、各種講座をご用意します。また、俱知安農業高校の施設を活用した「高等学校開放講座」も開講します。  
新しく何か始めたいとお考えの方、お気軽にご参加ください。  
**寿 大 学**  
寿大学は町内の65歳以上の皆さんを対象に、進んで学ぶ「総合大学」として設置しています。  
毎年100人を超える元気いっぱい生徒たちが入学。座学や宿泊旅行などを通し、学びの輪・仲間作りの輪を広げています。  
どちらも詳しくは折込チラシを!

### ～「旬」の食べ物で春の味を満喫しましょう!～ 菜の花とあさりのスパゲティ

1人分 エネルギー 426kcal  
塩分 2.5g



菜の花は少しほろ苦いので、お子さんが苦手であれば、春きゃべつ、アスパラなど他の春野菜で作ってみてくださいね♪



#### ＊材料(2人分)

|                |                |
|----------------|----------------|
| スパゲティ……………200g | 菜の花……………100g   |
| あさり……………15個くらい | オリーブ油……………小さじ1 |
| んにく……………1かけ    | 塩、こしょう……………少々  |

#### ＊作りかた

- ①あさは軽く洗い、塩水(水カップ1に対し、塩小さじ1杯)に入れて、冷暗所に2～3時間おき砂だしを行なう。
- ②菜の花はサッとゆでてざるにあけておく。
- ③鍋たっぷりのお湯を沸かし、塩を入れ、麺の袋に書いてある時間ゆでる。
- ④フライパンにオリーブ油をひき、みじん切りにしたんにくを入れ、香りが出たら、あさり、スパゲティのゆで汁を入れ、蒸し焼きにする。
- ⑤あさが口を開いたら、麺、菜の花を入れて混ぜ、塩で味を整える。お好みでこしょうをかけて食べる。

雪が少しずつ溶けて、春が近づいてきました。菜の花、ふきのとう、アスパラガス、うど、せり、たけのこ、スナップえんどうなど春を感じる野菜がスーパーでも見られるようになりました。

食材の「旬」とは他の時期よりも新鮮で美味しく食べられる時期、のことを言います。今は、スーパーやコンビニがあるので、いつでもどこでも食べ物が手に入るので、旬を意識する機会が少なくなりました。春の野菜は旬を感じることの出来る貴重な時期かもしれません。

まだまだ肌寒い日が続きますが、食卓から春を感じてみてはいかがでしょうか？

栄養士 小屋畑麻未